

授業科目 総合ゼミ

【担当教員名】	対象学年	4	対象学科	理学・作業・言語・健康・社会
	開講時期		必修・選択	選択
	単位数		時間数	
<p>【<概要>又は<一般目標：G I O>】</p> <p>本科目はQOLサポーターとしての専門職への円滑な導入を主たる目的として設定されている。</p> <p>この目的を実現するために、5学科学生が協働して、お互いの専門性、志向性を考慮しながら課題への取り組みを行い、対象者（対象患者）のニーズを探ることを習得する。このゼミ活動を通して学生は他職種専門性、志向性を知り、連携の重要性を知ることを目標にする。</p> <p>さらに、対象者のQOLの向上を支えるためには異なる専門職との密接な連携が必要であることを理解し、地域における社会資源や専門職および専門機関（医療、保健、福祉）のネットワークの重要性と構築の必要性を理解し、地域社活動の意義、実践ができることを第2の目標とする</p>				
<p>【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】</p> <ol style="list-style-type: none"> 対象への評価ができる 他職種の専門性、志向性に基づいた評価と自らの差異を識別できる。 <ol style="list-style-type: none"> 1- ケース会議において対象（者）への評価結果を説明できる。 2- ケース会議で合議して対象者のニーズを抽出できる。 4-1. ケース会議の結果に基づき、協働して対象へのアプローチを企画できる 4-2. 対象者のニーズに対する他職種のアプローチの特徴を指摘できる。 5.（治療）計画について対象者へ説明し同意を得ることができる。 6. 治療介入計画に対象者の意見を反映させることができる。 				
数			番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
	個人、集団、および地域を各職種で評価しそのニーズを探り各職種の役割を見つける。			
1	オリエンテーション	ゼミの進行および各職種の評価方法の例示		教員各学科1名
2	対象への評価		1	
3	対象への評価		1	
4	対象への評価		1	
5	ケース会議	対象者を交えて行う	2, 3, 4, 5, 6	教員各学科1名
6	ケース会議		2, 3, 4, 5, 6	
7	ケース会議		2, 3, 4, 5, 6	
8	発表会準備		2, 4, 5	
9	発表会準備		2, 4, 5	
10	発表会準備		2, 4, 5	
11	発表会	(全学又は4年生、および教員の前で発表)	7	
12	発表会		7	
13	発表会		7	
14	総括		7	
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	特に定めず			
参考書	特に定めず			
その他の資料				
【評価方法】	【履修上の留意点】			
出席				
評価内容				
討論内容				